

## 活線ボルトクリッパ450・600 取扱説明書

活線ボルトクリッパをご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。この取扱説明書は活線ボルトクリッパを安全にお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を防ぐために守って頂きたい事項が記載されております。お読みになった後は活線ボルトクリッパをご使用される方が、いつでも取り出してお読みになれるように保管して下さい。わかり易くするための表示と図記号の意味は次のようになっていますので、内容をよく理解してからお読み下さい。

<b>△危険</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が極めて高い切迫した状況が想定される内容を示しております。
<b>△警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しております。
<b>△注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しております。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な事項が記載されていますので、必ずお守り下さい。

### ■ 使用目的

主として、軟鋼線・アルミ線・硬鋼線・軟鋼線・鋼より線を切断するための切断工具であり、両手で持って使用します。

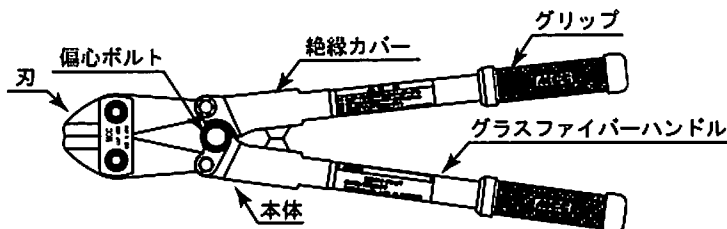
### ■ 仕様

品番	呼び寸法	切断最大径	使用電圧	全長(mm)	質量(kg)
ZBC-450	450mm	φ7mm	7000V以下	510	1.3
ZBC-600	600mm	φ10mm(硬さ80HRB以下) φ9mm(硬さ20HRC以下)	7000V以下	620	2.1

切断対象材 : 軟鋼線・アルミ線・硬鋼線・軟鋼線・鋼より線

硬さ 80HRB以下、引張強さ 490N/mm<sup>2</sup>(50kgf/mm<sup>2</sup>)  
硬さ 20HRC以下、引張強さ 735N/mm<sup>2</sup>(75kgf/mm<sup>2</sup>)

### ■ 各部の名称



### ■ 安全上の注意

#### △ 危険

- (1) ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読み頂き、使い方を十分理解して下さい。
  - (2) 活線の切断は素手では行わないで下さい。感電事故につながります。
  - (3) 活線作業を行う時は保護具を必ず着用して下さい。
- ※労働安全衛生規則に基づく感電防止対策をお取りになってから、切断作業を行って下さい。

#### △ 警告

- (1) 電気工事士資格をもたない人は、絶対に活線作業はしないで下さい。
- (2) 切断作業時は被切断材が飛散したり、切り口で負傷する恐れがありますので、保護メガネ・保護手袋などの保護具を必ずご使用下さい。
- (3) 作業時には飛散した切断対象材が他の人に当たらないよう、十分注意を払って下さい。
- (4) 高所で作業する場合には、工具や切断対象材を落下させないような安全防护対策をお取り下さい。
- (5) ハンドル部に金属粉が付着したり汚れたりすると耐電圧性能が低下しますので、いつも手入れをしてきれいに保って下さい。
- (6) グラスファイバーと本体との結合部にガタが生じた場合は、抜ける恐れがありますので使用しないで下さい。
- (7) 握り部(グリップ)を手で廻してまわる状態となれば、接着効果がなくなっていますので抜ける恐れがあります。修理または廃棄して下さい。

### △ 注意

- (1) 本書の使用目的並びに仕様の項に記載の切断対象材以外の切断には使用しないで下さい。
- (2) 切断は刃の中央部より奥の部分で切断対象材に直角に当てがって行って下さい。  
※刃の先端部で切断したり、こじたりすると操作性が悪くだけでなく、刃が欠けて危険です。
- (3) 工具の改造は工具の性能を損ねるだけでなく予期せぬ事態を招きます。絶対に行わないで下さい。
- (4) ボルトクリップはご使用になる前に刃などの各部の損傷・磨耗・緩みなどが無いかの点検を行い、異常がある状態での使用はしないで下さい。  
※修理はお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付け下さい。
- (5) 軽快に使用して頂くために「動く部分」には時々注油をして下さい。

### ■ 操作方法

#### 1. 作業を行われる前に

- ① 整理・整頓し、安定した場所を確保し、正しい服装を心掛けて下さい。

### △ 警告

- (1) 本書記載の使用目的及び仕様の範囲を逸脱した使用は、ボルトクリップが破損するなどして思わぬ事故になる恐れがあります。
- (2) 床面の油や障害物で滑ったり、つまずいたりすると思わぬ事故につながります。
- (3) 保安帽・安全靴・保護手袋・保護メガネなどの保護具を必ず着用して下さい。

#### 2. 切断作業の基本操作手順

- ① ハンドルを十分に開いて、切断対象材を刃の中央より奥で当てがって下さい。  
※切断対象材に対してボルトクリップが直角となるようにして下さい。
- ② 両手でハンドルを閉じるように力を加えることにより、切断対象材の切断が出来ます。

### △ 警告

- (1) 切断対象材を刃先では絶対に切断しないで下さい。  
※切断対象材の端材が飛散しやすくなります。また、刃先が欠けたりして大変危険です。

#### 3. 日常の点検・メンテナンス

- ① 刃が欠けていないか常に点検し、磨耗・損傷などのある場合は使用しないで下さい。  
※もし異常があれば、修理して下さい。

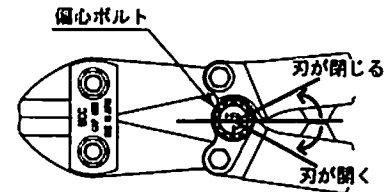
### △ 警告

- (1) ボルトクリップは常に点検し、磨耗・損傷などのある場合には使用しないで下さい。
- (2) この工具の改造は絶対に行わないで下さい。
- (3) 修理の知識や技能のない方が修理されると、工具本来の性能を発揮しないだけでなく、思わぬ事故につながる恐れがあります。  
※修理はお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付け下さい。

#### 4. 刃先の調整方法

刃先の隙間が大きくなり切断対象材が切れ落ちない場合や刃を交換した場合は、刃先が適正な隙間となるよう調節を行って下さい。刃先の調節は、次の手順でハンドルの当り部が密着した位置で適正な隙間となるよう調節して下さい。

- ① 偏心ボルト用六角ナットを外れない程度に緩め、偏心ボルトを12角穴部より抜く。
- ② 偏心ボルトを回して刃先の隙間が僅かにすく程度に調節する。(ボルトの矢印方向に回すと刃が閉じます)
- ③ 偏心ボルト用六角ナットを締める。



### ■ 替刃

刃は消耗品です。破損や磨耗により使用出来なくなりましたら、刃を交換して下さい。

お買い求めの際には品番をご指定下さい。

ZBC-450用替刃・・・品番BCE0045

ZBC-600用替刃・・・品番ZBCE600

※ただし、BCE0045には「CAP8MM」と刻印されていますが、ZBC-450としての切断能力は「CAP7MM」となりますのでご使用の際はお間違えのない様ご注意下さい。

株式会社 MCCコーポレーション  
株式会社 松阪鉄工所

☎ (059) 234-2454

<http://www.mccc corp.co.jp>

1 3 0 8 0 6